

国補 浅川小学校 北校舎長寿命化改修建築工事

長野市

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
	表紙		A-48	北校舎 展開図 (6)	1/50	A-97	北校舎 撤去 1階コンテナ室詳細図	1/20	S-01	特記仕様書 (構造関係) (1)	NO SCALE
	図面リスト		A-49	北校舎 展開図 (7)	1/50	A-98	北校舎 撤去 1階放送室・スタジオ詳細図	1/20	S-02	特記仕様書 (構造関係) (2)	NO SCALE
A-01	特記仕様書 (1)	NO SCALE	A-50	北校舎 展開図 (8)	1/50	A-99	北校舎 撤去 2階図工室詳細図	1/20	S-03	構造関係共通事項-1	NO SCALE
A-02	特記仕様書 (2)	NO SCALE	A-51	北校舎 展開図 (9)	1/50	A-100	北校舎 撤去 2階資料室詳細図	1/20	S-04	構造関係共通事項-2	NO SCALE
A-03	特記仕様書 (3)	NO SCALE	A-52	北校舎 展開図 (10)	1/50	A-101	北校舎 撤去 2階音楽室詳細図 (1)	1/20	S-05	構造関係共通事項-3	NO SCALE
A-04	特記仕様書 (4)	NO SCALE	A-53	北校舎 電気配管カバー詳細図	1/50	A-102	北校舎 撤去 2階音楽室詳細図 (2)	1/20	S-06	構造関係共通事項-4	NO SCALE
A-05	特記仕様書 (5)	NO SCALE	A-54	部分詳細図 1	1/15	A-103	北校舎 撤去 廊下展開図 (1)	1/50	S-07	構造関係共通事項-5	NO SCALE
A-06	特記仕様書 (6)	NO SCALE	A-55	部分詳細図 2	1/5	A-104	北校舎 撤去 廊下展開図 (2)	1/50	S-08	構造関係共通事項-6	NO SCALE
A-07	工事区分表	NO SCALE	A-56	部分詳細図 3	1/6・1/12	A-105	北校舎 撤去 天井伏図 (1)	1/100	S-09	構造関係共通事項-7	NO SCALE
A-08	配置図 (1期工事)	1/400	A-57	部分詳細図 4	1/6	A-106	北校舎 撤去 天井伏図 (2)	1/100	S-10	柱脚工法 標準図	NO SCALE
A-09	仮設計画図 (1期工事)	1/300	A-58	木製学校間仕切詳細図	1/5	A-107	北校舎 撤去 建具キープラン	1/100	S-11	QLデッキ合成ズラブ設計・施工標準	NO SCALE
A-10	敷地求積図	1/400	A-59	エレベーター詳細図 (1)	NO SCALE	A-108	北校舎 撤去 建具表 (1)	NO SCALE	S-12	柱状図	NO SCALE
A-11	面積表 (1)	1/200	A-60	エレベーター詳細図 (2)	1/30	A-109	北校舎 撤去 建具表 (2)	NO SCALE	S-13	特記仕様書	NO SCALE
A-12	面積表 (2)	1/200	A-61	エレベーター詳細図 (3)	1/30	A-110	北校舎 撤去 建具表 (3)	NO SCALE	S-14	多機能トイレ・エレベーター 伏図 1	1/30
A-13	外部仕上表	NO SCALE	A-62	北校舎 1階建具キープラン	1/100	A-111	北校舎 撤去 建具表 (4)	NO SCALE	S-15	多機能トイレ・エレベーター 伏図 2	1/30
A-14	内部仕上表 1	NO SCALE	A-63	北校舎 2階建具キープラン	1/100	A-112	外構図	1/300	S-16	多機能トイレ・エレベーター 軸組図	1/30
A-15	内部仕上表 2	NO SCALE	A-64	北校舎 3階建具キープラン	1/100				S-17	多機能トイレ・エレベーター リスト図	1/30
A-16	改修後 全体 1階平面図	1/150	A-65	北校舎 建具表 (1)	1/50				S-18	多機能トイレ・エレベーター 架構図	1/30
A-17	改修後 全体 2階平面図	1/150	A-66	北校舎 建具表 (2)	1/50						
A-18	改修後 全体 3階平面図	1/150	A-67	北校舎 建具表 (3)	1/50						
A-19	改修後 全体屋根伏図	1/150	A-68	北校舎 建具表 (4)	1/50						
A-20	北校舎 1階平面図	1/100	A-69	1階家具キープラン	1/150						
A-21	北校舎 2階平面図	1/100	A-70	2階家具キープラン	1/150						
A-22	北校舎 3階平面図	1/100	A-71	3階家具キープラン	1/150						
A-23	北校舎 屋根伏図	1/100	A-72	家具詳細図 01	1/30						
A-24	北校舎 1階天井伏図	1/100	A-73	家具詳細図 02	1/30						
A-25	北校舎 2階天井伏図	1/100	A-74	家具詳細図 03	1/30						
A-26	北校舎 3階天井伏図	1/100	A-75	家具詳細図 04	1/30						
A-27	北校舎 立面図 1	1/100	A-76	家具詳細図 05	1/30						
A-28	北校舎 立面図 2	1/100	A-77	家具詳細図 06	1/30						
A-29	北校舎 立面図 3	1/100	A-78	家具詳細図 07	1/30						
A-30	北校舎 矩計図 1	1/30	A-79	1階サインキープラン	1/150						
A-31	北校舎 矩計図 2	1/30	A-80	2階サインキープラン	1/150						
A-32	北校舎 矩計図 3	1/30	A-81	3階サインキープラン	1/150						
A-33	北校舎 階段詳細図	1/30	A-82	サイン詳細図 1	NO SCALE						
A-34	多機能トイレ・エレベーター平面詳細図	1/30・1/60	A-83	サイン詳細図 2	NO SCALE						
A-35	多機能トイレ・エレベーター矩計図	1/30	A-84	1階法規チェック図	1/150						
A-36	北校舎 1階平面詳細図 (1)	1/50	A-85	2階法規チェック図	1/150						
A-37	北校舎 1階平面詳細図 (2)	1/50	A-86	3階法規チェック図	1/150						
A-38	北校舎 1階平面詳細図 (3)	1/50	A-87	法規チェック図 1 (防火区画)	1/200						
A-39	北校舎 2階平面詳細図 (1)	1/50	A-88	法規チェック図 2 (防火区画)	1/200						
A-40	北校舎 2階平面詳細図 (2)	1/50	A-89	法規チェック図 3	NO SCALE						
A-41	北校舎 3階平面詳細図 (1)	1/50	A-90	法規チェック図 4	NO SCALE						
A-42	北校舎 3階平面詳細図 (2)	1/50	A-91	北校舎 撤去 矩計図 (1)	1/20						
A-43	北校舎 展開図 (1)	1/50	A-92	北校舎 撤去 矩計図 (2)	1/20						
A-44	北校舎 展開図 (2)	1/50	A-93	北校舎 撤去 1階家庭科室詳細図	1/20						
A-45	北校舎 展開図 (3)	1/50	A-94	北校舎 撤去 1階教室詳細図	1/20						
A-46	北校舎 展開図 (4)	1/50	A-95	北校舎 撤去 1階職員室詳細図	1/20						
A-47	北校舎 展開図 (5)	1/50	A-96	北校舎 撤去 1階校長室・事務室詳細図	1/20						

2 仮設工事

① 足場その他
足場を設ける場合、「改修標仕」2.2.1(2)によるほか、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における(2)の手すり設置方式又は(3)の手すり専用足場方式により行うこと。
内部足場
種類 ※ きゃつ、足場板等 ・ ローリングタワー ・
外部足場 ・ 設置する ・ 設置しない
種類 ※ 枠組足場又はくさび緊結式足場 ・ 単管足場 ・ 仮設ゴンドラ ・ 移動式足場
範囲 ※ 工事に必要な範囲
防護シートによる養生 ※ 行う ・ 行わない
材料、撤去材等の運搬
・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種

② 養生
既存部分の養生 ※ ビニルシート等 ・
既存家具等の養生 ※ ビニルシート等 ・
既存ブラインド、カーテン等の養生 ※ ビニルシート等 (保管場所) ・
固定家具等の移動 ※ 行わない ・ 行う (図示)

③ 仮設間仕切
仮設間仕切り等の種別 [2.3.2][表 2.3.1]
種別 下地 仕上材 (厚さ mm) 塗装
・ A種 ※ 軽量鉄骨 ・ 合板 (※ 9.0) ・ ※ 無し
・ B種 ・ 木下地 ※ せっこうボード (※ 9.5) ・ ※ 片面
・ C種 単管下地 防炎シート
仮設扉 ※ 木製扉 ※ 合板張り程度 ・ ※ 無し
・ 鋼製扉 ※ 片面フラッシュ程度 ・ ※ 有り
充てん材 ・ グラスウール 32K (厚: 50mm以上) ・

④ 監督職員事務所
・ 既存建物内の一部を使用する ・ 構内に設置する [2.4.1]
※ 設けない

⑤ 工事用水
構内既存の施設 ・ 利用できない ※ 利用できる (※ 有償 ・ 無償)

⑥ 工事用電力
構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償)

⑦ 交通誘導員
※ 配置する (交通誘導員 B) ・ 配置しない

6 改質アスファルトシート防水

保護コンクリート
設計基準強度 ※18N/mm² ・ N/mm²
スラブ ※15cm ・ 18cm [3.3.2]
立上り部の保護工法
・ 乾式保護材 乾式保護材の材料 ・
・ コンクリート押え
・ モルタル押え (屋内等)
・ れんが押え (・ 図示)
・ れんがの材料 ・ JIS R 1250 (普通れんが及び化粧れんが) ・
屋根露出防水断熱断熱工法におけるルーフトレンドリ及び立上り部周辺 [3.3.4(4)(g)]
※ 図示
平場の保護コンクリートの厚さ [3.3.5(4)]
こて仕上げの場合 ※80mm以上
床面の仕上りの平たんさ ※a種 ・ b種 ・ c種 [表 8.1.5]
床タイル張り等の場合 ※60mm以上
保護層等の屋上排水溝
・ モルタルこて仕上げ ※ 図示 [3.3.5(7)]

防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種類 厚さ(mm)
・ M4AS工法 ・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J2
・ M3AS工法 ・ AS-T3 ・ AS-T4
・ POAS工法 ・ AS-J1 ・ AS-J3
・ M3ASI工法 ・ ASI-T1 ・ ASI-J1
・ M4ASI工法
・ POASI工法

改質アスファルトシートの種類及び厚さ [3.4.2]
※改修標仕 表3.4.1から表3.4.3による ・ 図示
接着層付改質アスファルトシート及び部分接着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ [3.4.2]
※改修標仕 表3.4.1から表3.4.3による ・ 図示
押え金物の材質及び形状寸法 [3.4.2]
材質 ※アルミニウム ・ 図示
形状 ※L-30×15×2.0 ・ 図示
屋根露出防水断熱工法の断熱材 (ノンフロンのもの [G]) [3.4.2]
材質 ※発泡プラスチック断熱材 (JIS A 9521)
硬質ウレタン断熱材 2種 1号又は2号の場合は、透湿係数を除く JIS A 9521 の規格に準ずるもの。
厚さ(mm) ・ 30 ・ 50 ・ 100
M3AS, POAS, M3ASI, M4ASI, POASI工法の脱気装置 [3.4.3]
※ 設けない ・ 設ける (改質アスファルトシート製造所の指定による)
M3ASI, M4ASI, POASI工法における防湿層の設置 [表 3.4.3(注)]
※ 設ける ・ 設けない

7 合成高分子系ルーフィングシート防水

防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種類 仕上り塗料等 使用分類
・ POS工法 ・ S-F1 ・ S-F2 777777系 ※非歩行
・ POSI工法 ・ S-M1 ・ S-M2 シルバー
・ S4S工法 ・ SI-F1 ・ SI-F2
・ S4SI工法 ・ SI-M1 ・ SI-M2
・ S3S工法 ・ S-F1 ・ S-F2
・ S3SI工法 ・ SI-F1 ・ SI-F2
・ M4S工法 ・ S-M1 ・ S-M2
・ M4SI工法
・ P1S工法 ・ S-C1 ・ カラー

既存防水層 (立上り部等) の撤去 [3.1.4]
(POS (機械), POSI (機械), M4S, M4SI, S4S (機械), S4SI (機械) の場合)
※ 除去する (ルーフィング類製造所の仕様による)
・ 除去しない

ルーフィングシート (JIS A 6008) の種類及び厚さ [3.5.2]
※改修標仕 表3.5.1から表3.5.2による ・ 図示
絶縁用シート [3.5.2]
材質 ※発泡ポリエチレンシート ・ 図示
固定金具の材質及び形状 [3.5.2]
材質 ※ステンレス鋼板 ・ 防錆処理した鋼板 ・ 図示
厚さ(mm) ※0.4
断熱工法の断熱材 (ノンフロンのもの [G]) [3.5.2]
機械式固定工法の断熱材の材質及び厚さ
材質 ※発泡プラスチック断熱材 (JIS A 9521)
硬質ウレタン断熱材 2種 1号又は2号の場合は、透湿係数を除く JIS A 9521 の規格に準ずるものとし、*1777777断熱材は適用しない。
厚さ(mm) ・ 30 ・ 50 ・ 100
接着工法の断熱材の材質及び厚さ
材質 ※発泡プラスチック断熱材 (JIS A 9521)
硬質ウレタン断熱材 2種 1号又は2号の場合は、透湿係数を除く JIS A 9521 の規格に準ずるものとし、*1777777断熱材の場合は、密度及び熱伝導率が、JIS A 9521の規格に準ずるものとする。
厚さ(mm) ・ 30 ・ 50 ・ 100
脱気装置の種類 [3.5.3]
※ 設けない ・ 設ける (ルーフィングシート製造所の指定による)
仕上塗料の種類、使用量 (種類 ・ 使用量 kg/m²) [表 3.5.1~2]
※ 設けない ・ 設ける (ルーフィングシート製造所の指定による)
屋内保護密着工法 (S-C1) の場合のモルタル塗り厚さ [表 3.5.3]
※ () mm
プレキャストコンクリート下地の目地処理 [3.5.4]
※ 図示
プレキャストコンクリート下地の入隅部の増張り (S-F1, SI-F1の場合) [3.5.4]
※ 図示
一般部のルーフィングシートの張付け (機械式固定工法の場合) [3.5.4]
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※ 適用する
・ 適用しない
立上り部の保護モルタル 塗厚 ※7mm以下

8 塗膜防水

[表 3.1.1][3.6.3][表 3.6.1~2]
防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種類 仕上り塗料塗り
・ POX工法
・ L4X工法 バルコニー、渡り廊下
・ X-1 ・ X-1H シリコン系
・ X-2 ・ X-2H ・ シルバー
・ P1Y工法 ※ Y-2
・ P2Y工法

既存防水層 (立上り部等) の撤去 [3.1.4]
※ 除去する (ルーフィング類製造所の仕様による)
・ 除去しない
脱気装置の種類 [3.6.3]
※ 設けない ・ 設ける (主材料製造所の指定による)
保護層の仕様 [表 3.6.3]
※ 図示

シーリング [3.7.4~7][表 3.7.1]
シーリング改修工法の種類
・ シーリング再充填工法
・ 拡張シーリング再充填工法 ・ プリッジ工法
シーリング材の種類、施工箇所 [3.7.2][表 3.7.1]
※ 下表以外は、改修標仕表 3.7.1 を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類 (記号)
外部建具廻り	MS-2
打継目地	PS-2

仕上げを行わない施工箇所 () [3.7.3]
シーリング材の目地寸法
※ 標仕 7.3(1)による
接着性試験 [3.7.8]
※ 行う (※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験) ・ 行わない

10 とい [3.8.2][表 3.8.1]
この材質
・ 配管用鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管
・ 建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管 (RP-VP) [G]
・ 表面処理鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミ既製品
とい受金物及び足金物の材質、形状及び取付け間隔 [3.8.2][表 3.8.2]
※ 改修標仕 表 3.8.2 による [G]
※ 多雪地域 (軒どりの取付け間隔は0.5m以下)
降雨の場合の養生 [3.8.3]
鋼管製といの防露 [3.8.2][表 3.8.4]
・ 次の箇所は行わない ()
ロックウール保温箔及びフェノールフォーム保温箔のホルムアルデヒドの放数量
※ 規制対象外 ・ 第三種
掘削口 ※ 有り ・ 無し
たてどい受金物の取付け [3.8.3]
※ 図示 ・ 標仕 13.5.3 (d) (2) による

11 アルミニウム製笠木 [3.9.2][表 3.9.1]
種類 呼称肉厚(mm) 表面処理 固定間隔 備考
・ 250形 1.6以上 ※ AB-1 又は 固定方法及び 付属部品の材料及びコーナ
・ 300形 1.8以上 ※ BB-1 種 間隔は品質計 部・突当り部等の役物は、笠
・ 350形 2.0以上 ※ BB-2 種 面で定めたも 木本体の製造所の仕様による。
・ 100形 () の
板材折曲げ形の笠木本体幅及び板厚 ※ 図示 [3.9.3]
工法
既存笠木等の撤去 ○ 行う (範囲 ※ 図示 ・)
下地補修の工法 ※ 図示
板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※ 図示
建築基準法に基づき風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※ 適用する
・ 適用しない

12 折板葺 [13.3.3(表 13.2.1)]
形 式 ※ 重ね形 ○ はせ絡め形 ・ かん合形
形状(mm) 山高 (90) 山ピッチ (300) 板厚 ※ 0.6 ○ 0.8
材 料 ※ 塗装溶融 55%777777=777=亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (GGLCOR-20-AZ 150)
(規格等) ・
軒先面戸板 ※ 有り ・ 無し
断 熱 材 ※ 有り (種別: 不燃断熱材 厚さ: 5.0 mm) ・ 無し
防火性能 ※ 30分耐火 ・ 無し

13 長尺金属板葺 [13.2.2~3(表 13.2.1)]
屋根葺形式 長尺金属板の種類、記号 板厚(mm)
・ 横葺 ※ 塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき ※ 0.4
・ 瓦葺葺 (心木なし) 鋼板及び鋼帯 (GGLCOR-20-AZ150) ※ 0.5
立ハセ葺
下葺材料 ※ アスファルトルーフィング 940 ○ ゴム改質アスファルトルーフィング
屋根葺工法 ※ 図示 (A- 図)
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※ 適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の ○ ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
・ 適用しない
雪止め ※ 設ける (図示 A- 図) (13.2.3)

保証書
※ 受注者及び施工業者連名で、保証書を提出すること。
保証期間 10年

保証書
※ 受注者及び施工業者連名で、保証書を提出すること。
○ ガルバリウム等 保証期間 10年

4 外壁改修工事

① 施工数量調査 [1.6.2]
調査範囲 ※ 外壁改修範囲 ・ 図示の範囲
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリート、モルタル、仕上げ塗材表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
調査報告書の部数 ※ 2部

② コンクリート打放し仕上げ外壁の改修 [4.2.4]
材料
Uカットシール材充填工法
・ 1成分又は2成分ポリウレタン系シーリング
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ ポリマーセメントモルタル
シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂
充填工法
・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル

※ 樹脂注入工法 [4.2.5]
注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入間隔(mm) 注入量(mL/m) 備考
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~1.0 以下 ※ 200~300 ※
・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ・
・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~0.3 未満 ※ 50~100 ※ 40
・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.3以上~0.5 未満 ※ 100~200 ※ 70
・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.5以上~1.0 以下 ※ 150~250 ※ 130
注入材料
※ 建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024) ・ 低粘度形 ・ 中粘度形
・
コア抜取りによる確認 ※ 行わない ()
※ Uカットシール材充填工法 [4.2.6]
充填材料 品質・規格等 備考
・ シーリング材 ※ 1成分又は2成分形 ポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行わない ・ 行う
・ 可とう性エポキシ樹脂

※ シール工法 (ひび割れ幅 0.2mm未満) [4.2.7]
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

※ 充填工法 [4.2.8]
・ エポキシ樹脂モルタル
・ ポリマーセメントモルタル

3 モルタル塗り仕上げ外壁の改修 [4.3.2][4.3.3][4.3.3]
既存モルタル塗りの撤去 [4.3.2][4.3.3]
・ 行う (※ 全面 ・ 図示の範囲)
材料 [4.3.5]
Uカットシール材充填工法
・ 1成分又は2成分ポリウレタン系シーリング
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ ポリマーセメントモルタル
シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂
充填工法
・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル
モルタル塗替え工法
モルタル (・ 現場調査材料 ・ 既調査材料)
既製目地材 ・ 適用する (形状 ※ 図示 ・)
アンカーピンニング注入工法
※ エポキシ樹脂
・ ポリマーセメントスラリー
アンカーピンの材質
※ ステンレス SUS 304、呼び径 4mm の丸棒で全ネジ切り加工したもの
・
注入口付アンカーピンニング注入工法
※ エポキシ樹脂
・ ポリマーセメントスラリー
注入口付アンカーピンの材質
※ ステンレス SUS 304、呼び径外径 6mm
・
※ 樹脂注入工法 [4.3.6]
注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入間隔(mm) 注入量(mL/m) 備考
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~1.0 以下 ※ 200~300 ※
樹脂注入工法 ・
・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~0.3 未満 ※ 50~100 ※ 40
注入工法 0.3以上~0.5 未満 ※ 100~200 ※ 70
・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.5以上~1.0 以下 ※ 150~250 ※ 130
注入材料
※ 建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024) ・ 低粘度形 ・ 中粘度形
・
コア抜取りによる確認 ※ 行わない ()
・ 行う (抜取り部の補修方法:)
※ Uカットシール材充填工法 [4.3.7]
充填材料 品質・規格等 備考
・ シーリング材 ※ 1成分又は2成分形 ポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行わない ・ 行う
・ 可とう性エポキシ樹脂

4 タイル張り仕上げ外壁の改修 [4.3.8] [4.3.9] [4.3.10] [4.3.11~16] [4.4.2~4.4.4] [4.4.5] [4.4.6] [4.4.7] [4.4.8] [4.4.8] [4.4.8] [4.4.8]

※ シール工法 (ひび割れ幅 0.2mm未満) [4.3.8]
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ 充填工法 (モルタル撤去部 0.25㎡/1ヶ所 以下の場合) [4.3.9]
・ エポキシ樹脂モルタル
・ ポリマーセメントモルタル
・ モルタル塗替え工法 [4.3.10]
塗厚 ※ 図示
塗厚 25mm を超える場合の補強 ※ 行う ・ 行わない ・ 図示

アンカーピンニング注入工法 [4.3.11~16]
改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)
7ヶホンの本数 (本/㎡) 注入口の箇所数 (箇/㎡) 充填量 (ml/㎡)
一般部 指定部 一般部 指定部
・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※ 16 ※ 25 ※ 25ml
・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 25ml
・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 50ml
・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※ 9 ※ 16 ※ 25ml
・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 25ml
・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 50ml

既存タイル張りの撤去 [4.4.2~4.4.4]
・ 外壁タイル張り全面 ・ 図示の範囲
撤去範囲 ※ 下地モルタルまで ・ 張付けモルタルまで ・ タイルのみ

アンカーピンニング注入工法 [4.4.5]
※ エポキシ樹脂
・ ポリマーセメントスラリー
アンカーピンの材質
※ ステンレス SUS 304、呼び径 4mm の丸棒で全ネジ切り加工したもの
注入口付アンカーピンニング注入工法
※ エポキシ樹脂
・ ポリマーセメントスラリー
注入口付アンカーピンの材質
※ ステンレス SUS 304、呼び径外径 6mm
タイル張替え工法及びタイル部分張替え工法
タイル部分張替え工法用張付け材料
※ ポリマーセメントモルタル
・ 外装タイル接着剤張りの接着剤 (目地詰め ※ 行う ・ 行わない)
タイルの種類
主な用途の施工箇所 形状寸法 (mm) 吸水率の区分 (I類 II類 III類 施軸無軸) うわぐすり 役物 色 再生材 耐摩耗性 備考
役物: 標準的な曲がり (小口、標準、二丁、屏風) の役物は一体成形とする。
シーリング材
打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ※ ポリウレタン系
伸縮調整目地、その他の目地 ※ 変性シリコン系
樹脂注入工法 [4.4.6]
注入工法の種類 呼び割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (ml/m) 備考
※ 自動式低圧エポキシ 0.2以上~1.0 以下 ※ 200~300 ※
樹脂注入工法
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~0.3 未満 ※ 50~100 ※ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上~0.5 未満 ※ 100~200 ※ 70
・ 注工法 0.5以上~1.0 以下 ※ 150~250 ※ 130
注入材料
※ 建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024) ・ 低粘度形 ・ 中粘度形
コア抜きによる確認 ※ 行わない
・ 行う (抜き取り部の補修方法:)
タイル部分張替え工法 [4.4.7]
※ 張替え面積が0.25㎡を超える場合は、タイル張替え工法による
タイル張替え工法 [4.4.8]
伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地
位置 ※ 改修仕様 表4.4.2による ・ 図示
タイルの見本検及び試験張り [4.4.8]
見本張り ・ 行う ※ 行わない
試験張り ・ 行う ※ 行わない
セメントモルタルによるタイル張り
下地モルタル塗りのコンクリート素地の下地処理方法 [4.4.8]
・ 目荒し工法 (改修仕様4.3.10(3) (イ)による)
下地モルタルの接着剤試験 (・ 行う ・ 行わない) [4.4.8]
壁タイル張りの工法 [4.4.8] [表4.4.5]
内外装タイル ・ 密着張り ・ 改良接着張り
内外装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り
有機系接着剤によるタイル張り [4.4.8]
下地調整材塗りを行うコンクリート素地の下地処理方法 [4.4.8]
・ 目荒し工法 (改修仕様4.3.10(3) (イ)による)

5 下地調整材塗りの接着剤試験 (・ 行う ・ 行わない) [4.4.8]
壁タイル張りの工法 [4.4.8]
外装タイル ※ 外装タイル接着剤張り
ユニットタイル ※ 外装タイル接着剤張り
目地詰め (※ 行う ・ 行わない) [4.4.8]

アンカーピンニング注入工法 [4.4.9~4.4.14]
改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)
7ヶホンの本数 (本/㎡) 注入口の箇所数 (箇/㎡) 充填量 (ml/㎡)
一般部 指定部 一般部 指定部
・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※ 16 ※ 25 ※ 25ml
・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 25ml
・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 50ml
・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※ 9 ※ 16 ※ 25ml
・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 25ml
・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 50ml

5 仕上塗材仕上げ外壁等の改修 [4.5.2] [表4.5.1]
① 薄付け仕上塗材 [4.5.2] [表4.5.1]
呼び名 仕上げの形状 工法
・ 外装薄塗材 S i
・ 砂壁状
・ ゆず肌状
・ 吹付け
・ 可とう形外装薄塗材 S i
・ 砂壁状
・ ゆず肌状
・ 吹付け
・ 可とう形外装薄塗材 E (見上げ面)
・ 砂壁状
・ ゆず肌状
・ 吹付け
・ 可とう形外装薄塗材 E
・ 砂壁状
・ ゆず肌状
・ 吹付け
・ 可とう形外装薄塗材 E
・ 砂壁状
・ ゆず肌状
・ 吹付け
・ 可とう形外装薄塗材 S
・ 砂壁状
・ 吹付け
・ 可とう形外装薄塗材 C
・ 吹放し
・ 凸部処理
・ 吹付け
・ 可とう形外装薄塗材 E
・ 吹放し
・ 凸部処理
・ 吹付け
・ 可とう形外装薄塗材 E
・ 吹放し
・ 凸部処理
・ 吹付け
② 複層仕上塗材 [4.5.2] [表4.5.1]
呼び名 仕上げの形状 工法 耐候性 溶媒 外観 上塗材 樹脂
・ 複層塗材 C E
・ 複層塗材 R E
・ 複層塗材 S i
・ 複層塗材 E
・ 可とう形複層塗材 C E
・ 複層塗材 E
・ 防水形複層塗材 C E
・ 防水形複層塗材 R E
③ 防水形複層塗材 E
・ ゆず肌状
・ 吹付け

5 ① 改修工法の適用 [5.1.3]
建具の種類 かつせ工法 撤去工法 適用箇所
・ アルミニウム製建具 ○ ○ ○ ※ 建具表による ・ 図示
・ 鋼製建具 ○ 外部 ○ 内部 ※ 建具表による ・ 図示
・ 鋼製軽量建具 ・ ・ ※ 建具表による ・ 図示
・ ステンレス製建具 ・ ・ ※ 建具表による ・ 図示
2 見本の製作等 [5.1.5]
建具見本製作 ・ 行う (建具符号:) ※ 行わない
特殊な建具の仮組 ・ 行う (建具符号:) ※ 行わない
3 防犯建物部品 [5.1.7]
・ 適用する (図示) ・ 適用しない
4 アルミニウム製建具 [5.2.2] [表 5.2.1]
外部に面する建具
種別 耐風圧性 気圧性 水密性 枠見込み (mm) 施工箇所
・ A種 S-4 A-3 W-4 ※ 70 ※ 図示
・ B種 S-5 A-4 W-4
・ C種 S-6 A-4 W-5 100
表面処理 ※ BB-1種 ・ BB-2種 (・ プラック系 ・ プラック ・ ステン) [5.2.4] [表 5.2.2]
水切板、ぜん板等 ※ 図示による [5.2.5]
給露水の処理方法 ※ 図示による [5.2.4]
防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級 () [5.2.2]
断熱ドアセット、断熱サッシ ④ 適用する 断熱性の等級 () [5.2.2]
耐震ドアセット ・ 適用する 面内変形追随性の等級 () [5.2.4] [表 5.2.2]
屋内建具
表面処理 ※ BC-1 種又は BB-1 種
・ BC-2 種又は BB-2 種 (・ プラック系 ・ プラック ・ ステン) [5.3.4]
5 網戸 [5.2.3]
防虫網の材料 [5.2.3]
網の種類 ※ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ 合成樹脂製 ・ ステンレス製 (SUS 316)
形式 ※ 外部可動式 ・ 固定式
6 樹脂製建具 [5.3.2] [表 5.3.1]
外部に面する建具
種別 耐風圧性 気圧性 水密性 枠見込み (mm) 施工箇所
・ A種 S-4 A-4 W-4 ※ 70 ※ 図示
・ B種 S-5 A-4 W-4
・ C種 S-6 A-4 W-5
遮音性能等級 ・ T-1種 ・ T-2種
断熱性能等級 ・ H-4種 ・ H-5種 ・ H-6種 ・ H-7種 ・ H-8種
日射取得性能等級 ・ N-1種 ・ N-2種 ・ N-3種
表面色 ※ 標準色 ・ 特注色 [5.3.4]
7 鋼製建具 [5.1.4]
防火戸の指定 ※ 建具表による [5.1.4]
特定防火設備の戸 ○ 適用する [5.4.4]
簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2] [表 5.4.1]
耐風圧性 ○ S-4 ・ S-5 ・ S-6 [5.4.2]
防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級 () [5.4.2]
断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する 断熱性の等級 () [5.4.2]
耐震ドアセット ・ 適用する 面内変形追随性の等級 () [5.4.2]
片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2.400mmを超える場合の鋼板の厚さ ※ 図示 [5.4.4]
くつずりの仕上 ※ ステンレス鋼板 HL [5.4.4]
8 鋼製軽量建具 [5.5.2]
簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2]
防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級 () [5.5.2]
断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する 断熱性の等級 () [5.5.2]
耐震ドアセット ・ 適用する 面内変形追随性の等級 () [5.5.2]
片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2.400mmを超える場合の鋼板の厚さ ※ 図示 [5.5.4]
9 ステンレス製建具 [5.6.2]
簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.6.2]
耐風圧性の適用は建具表による [5.6.3]
施工箇所 鋼材の種類
屋外 ※ SUS304又はSUS430J1L [表 5.6.1]
屋内 ※ SUS430 ・ SUS304又はSUS430J1L [表 5.6.4]
特定防火設備の戸 ・ 適用あり [表 5.6.1]
表面仕上げ ※ HL程度 ・ 鏡面仕上げ [5.6.4]
曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (補強あり) [5.6.5]
くつずりの仕上 ※ ステンレス鋼板 HL [5.6.5]

10 木製建具 [5.7.2] [表5.7.1] [表5.7.2] [表5.7.2] [表5.7.2] [表5.7.2]
建具材の加工、組立時の含水率 ※ A種 ・ B種
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆
枠、くつずりの材料 ・ 建具表による
・ フラッシュ戸 [5.7.2] [表5.7.2]
表面材の合板の種類
合板の種類 表面材の品質等 備考
・ 普通合板 接着の程度 ※ 水掛り箇所1類、その他2類以上
・ 表面材の品質 ※ 広葉樹1等
・ 天然木化粧合板 接着の程度 ※ 水掛り箇所1類、その他2類以上
・ 表面材の品質 ※ 広葉樹1等
・ 特殊加工化粧合板 接着の程度 ※ 水掛り箇所1類、その他2類以上
・ 表面材の品質 ※ 広葉樹1等
・ MDF 表面材の状態による区分 ()
曲げ強さによる区分 ()
接着剤による区分 ()
耐燃性による区分 ()
表面材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆
表面板の厚さ ※ 表5.7.6による [5.7.3]
引戸の定規線 ・ 引合せかましまいろう付きとする [5.7.4]
・ かまち戸 [5.7.2] [5.7.3] [表5.7.9]
かまち樹脂 () 鏡板樹脂 ()
見込み寸法 ※ 36mm ・ 建具表による
・ ふすま [5.7.2] [表5.7.3] [表5.7.7] [表5.7.4] [表5.7.10]
種別、工法 ・ I型 ・ II型
上張り ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上 ・ 張り縁 ・ 生地縁 (素地) ・ 生地縁 (ウレタンクリアー塗装)
見込み寸法 ※ 19.5mm ・ 建具表による
・ 戸ぶすま [5.7.2] [表5.7.3] [表5.7.7] [表5.7.4]
表面材の種類、品質等 ()
見込み寸法 ※ 30mm ・ 建具表による
・ 紙張り障子 [5.7.2] [表5.7.4] [表5.7.11]
見込み寸法 ※ 30mm ・ 建具表による
11 建具用金物 [5.8.2]
金物の種類・見掛け部の材質等 [5.8.2]
※ 改修仕様 表5.8.1及び適用 (備考欄の特記事項も含め) は、建具表による
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※ 改修仕様 表5.8.2による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※ 改修仕様 表5.8.3による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※ 改修仕様 表5.8.4による
木製建具に使用する戸車及びレール
※ 改修仕様 表5.8.3による
張り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置
・ 建具表による
12 鍵 [5.8.4]
マスターキー ※ 製作する ・ 製作しない [5.8.4]
鍵の製作本数等 ※ 3本1組 (・) 本 鍵箱 ※ 必要 ・ 不要
13 自動ドア開閉装置 [5.9.2] [表5.9.2]
戸の開閉方式 ・ 図示による [5.9.2]
自動ドア開閉装置の性能 [5.9.2]
駆動装置の性能
※ 引き戸用駆動装置の場合、改修仕様 表5.9.1による
防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない
車椅子使用者用扉出入口の引き戸用駆動装置の性能
※ 引き戸用駆動装置の場合、改修仕様 表5.9.2による
防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない
換気装置の性能
※ 引き戸用駆動装置の場合、改修仕様 表5.9.3による
防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない
引き戸用換気装置の種類は、改修仕様 表5.9.4による [5.9.2]
種類 ・ 光線 (反射) センサー ・ 熱線センサー ・ 音波センサー ・ 光電センサー
・ 電波センサー ・ タッチスイッチ (・ 無線式 ・ 光電式) ・ 押しボタンスイッチ
・ 車椅子使用者用扉スイッチ (・ 大形 (開・閉) 押しボタンスイッチ
・ 非接触スイッチ)
凍結防止装置 ・ 適用する ・ 適用しない [5.9.2]
14 自閉式上吊り引戸装置 [5.10.3]
性能 ※ 改修仕様 表5.10.1による ・ 図示による
15 重量シャッター [5.11.2]
シャッターの種類 [5.11.2]
シャッターの種類 開閉方式の種類
・ 管理用シャッター ※ 電動式 (手動併用) ・ 手動式
・ 外壁用防火シャッター ※ 電動式 (手動併用) ・ 手動式
・ 屋内用防火シャッター ※ 電動式 (手動併用) ・ 手動式
・ 防護シャッター ※ 電動式 (手動併用) ・ 手動式

16	軽量シャッター	<p>外部開口部に設置する重量シャッター 耐風圧強度 () pa</p> <p>安全装置の設置箇所 急降下制御装置または急降下停止装置の設置箇所 障害物感知装置の設置箇所 危害防止機構の設置箇所</p> <p>管理用シャッターのシャッターケース</p> <p>スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 めっきの付着量 ステンレス鋼板の種類</p> <p>開閉方式 耐風圧強度 () pa 電動式の場合の安全装置 障害物感知装置の設置箇所 スラットの材質の種類</p> <p>JIS G 3322 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 スラットの種類</p> <p>区分、材料 風圧力区分 開閉方式 収納形式 ガラスの材料</p> <p>適用は以下によるほか、ガラスの種類、厚さの組合せは建具表及び図示による</p> <p>フロート板ガラスの品質及び厚さの呼びによる種類</p> <p>型板ガラスの厚さによる種類</p> <p>網入板ガラス及び線入板ガラス</p> <p>合わせガラス</p> <p>強化ガラス</p> <p>形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 (呼び厚を含む)、特性による種類</p> <p>熱線吸収ガラス</p> <p>複層ガラス</p> <p>材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、複層ガラスの厚さ、断熱性による区分、日射遮蔽性及び日射透射性による区分、乾燥気体の種類</p> <p>熱線反射ガラス</p> <p>材料板ガラスの種類、厚さによる種類、日射遮蔽性及び耐久性の区分</p> <p>倍強度ガラス</p> <p>ガラス留め材及び溝の大きさ</p> <p>建具の種類</p> <p>アルミニウム製</p> <p>樹脂製</p> <p>鋼製及び鋼製軽量</p> <p>ステンレス製</p> <p>材料等</p> <p>表面形状</p> <p>壁用金属枠及び補強材</p> <p>力骨</p> <p>化粧目地モルタルの色</p> <p>シリング材の種類</p> <p>金属製化粧カバー</p> <p>工法</p>
	ガラス	<p>ガラスの種類、厚さの組合せは建具表及び図示による</p> <p>フロート板ガラスの品質及び厚さの呼びによる種類</p> <p>型板ガラスの厚さによる種類</p> <p>網入板ガラス及び線入板ガラス</p> <p>合わせガラス</p> <p>強化ガラス</p> <p>形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 (呼び厚を含む)、特性による種類</p> <p>熱線吸収ガラス</p> <p>複層ガラス</p> <p>材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、複層ガラスの厚さ、断熱性による区分、日射遮蔽性及び日射透射性による区分、乾燥気体の種類</p> <p>熱線反射ガラス</p> <p>材料板ガラスの種類、厚さによる種類、日射遮蔽性及び耐久性の区分</p> <p>倍強度ガラス</p> <p>ガラス留め材及び溝の大きさ</p> <p>建具の種類</p> <p>アルミニウム製</p> <p>樹脂製</p> <p>鋼製及び鋼製軽量</p> <p>ステンレス製</p> <p>材料等</p> <p>表面形状</p> <p>壁用金属枠及び補強材</p> <p>力骨</p> <p>化粧目地モルタルの色</p> <p>シリング材の種類</p> <p>金属製化粧カバー</p> <p>工法</p>

19	ガラス用フィルム	用途による区分 記号 貼り面 性能値
	6	<p>1 改修範囲</p> <p>2 既存床の撤去並びに下地補修</p> <p>3 既存壁の撤去並びに下地補修</p> <p>4 木材一般</p> <p>5 製材</p> <p>6 造作用集材</p>

7	造作用単板積層材	「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材
	8	<p>合板等</p> <p>「合板の日本農林規格」による普通合板</p> <p>「合板の日本農林規格」による構造用合板</p> <p>「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板</p> <p>「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板</p> <p>「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板</p> <p>「パーティクルボード</p> <p>構造用パネル</p> <p>MDF</p> <p>9 接合具等</p> <p>10 防蟻・防蟻処理</p>

11	鉄筋コンクリート造等の内部間仕切軸組及び床組	間仕切軸組に用いる木材
	12	窓、出入口その他
13	床板張り	床組に用いる木材
	14	壁及び天井下地
15	軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類
	16	軽量鉄骨壁下地
17	接着剤等	接着剤のホルムアルデヒド放数量
	18	ビニル床シート張り
19	ビニル床タイル張り	材料
	20	特殊機能床
21	ビニル幅木	材質の種類
	22	カーペット敷き

タフテッドカーペット [6.9.2~3] [表 6.9.2]
バイル形状 バイル長(mm) 工法 帯電性 備考
カットバイル ※5~7 ※全面接着工法 ・適用する
ループバイル ※4~6 ※グリッパー工法 ・適用しない
カット、ループ併用 ・

タイルカーペット [6.9.2~3] [表 6.9.2]
種類 バイル形状 寸法 総厚さ(mm) 施工箇所 備考
※第一種 ※第二種 ※第一種 ※第二種
※第一種 ※第二種

見切り、押え金物
・適用する(材質、形状等)
・適用しない
タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し
平場 ※市松敷き ・模様流し
階段 ※市松敷き ・模様流し

合成樹脂塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
種類 [6.10.3] [表 6.10.4~8]
種類 種類 工法 仕上げの種類 施工箇所
・厚膜型塗床材 (弾性かた樹脂系塗床材)
・厚膜型塗床材 (球杉樹脂系塗床材)
・薄膜型塗床材 (球杉樹脂系塗床材)

23 合成樹脂塗床
材料 水性アクリル系塗料 (※標準色)
仕上種類 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ
塗布量 プライマー塗りのうえ主剤2回塗りとし、総塗布量は 0.5 kg/m²以上とする

24 防塵用塗料塗り
フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※改修標仕 6.11.2(2)による

25 フローリング張り
単層フローリング [6.11.2~7] [表 6.11.1~5]
種類 工法 樹種 厚さ、幅及び長さ
・フローリングボード1等
・フローリングボード2等

複合フローリング [6.11.2~7] [表 6.11.1~5]
種類 工法 樹種 厚さ、幅及び長さ
○複合フローリング (天然木化粧)
・釘留め(根太張り)
・釘留め(直張り)
※接着工法

接着工法の場合の不陸緩衝材
※合成樹脂発泡シート
種類 [6.12.2]
・A種 ・B種 ・C種
・D種 (畳床・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-IV ・KT-V)

26 畳敷き
衝撃緩和型畳 畳表 (JIS A 5902) ・C1 ・C2

27 セッコウボード、その他ボード及び合板張り
材料 [6.13.2] [表 6.13.1]
規格名称 種類 厚さ(mm)等
木質系セッコウボード
・硬質木毛セメント板
・中質木毛セメント板
・普通木毛セメント板
・硬質木片セメント板
・普通木片セメント板

繊維強化セメント板
○けい酸カルシウム板
○強化セッコウボード
○強化セッコウボード
○セッコウボード
○セッコウボード
○セッコウボード

石質セッコウボード製品
○セッコウボード
○強化セッコウボード
○セッコウボード
○セッコウボード
○セッコウボード

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
ボード表面への化粧張仕上げの有無
・有り(種類)

天井ボードの重ね張りの張り付け方法 (ロックウール吸音板を除く)
セッコウボードの目地工法
種類
・図示(仕上げ表)による
セッコウボードのエッジの種類(突出工法、目直し工法の場合)
・図示による

28 壁紙張り
材料 [6.13.2]
種類 規格 防火処理
・普通合板
・天然木化粧合板
・特殊加工化粧合板

合板のホルムアルデヒド放散量 ※改修標仕 6.13.2(2)(4)のいずれかによる
合板の張り付け ・A種 ・B種
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
種類 [6.14.2]
壁紙の種類
紙 繊維 糊物 プラスチック 無機質 塩化ビニル その他
防火性能
備考

29 モルタル塗り
モルタル面及びプラスター面の吸込止め塗布等の素地ごしらえ
※B種 ・A種
コンクリート面の吸込止め塗布等の素地ごしらえ
※B種 ・A種
セッコウボード面の素地ごしらえ及びけい酸カルシウム板面の吸込止め塗布等の素地ごしらえ
※B種 ・A種

モルタル
○現場調合材料 ・既調合材料
既設目地材 ・設ける 施工箇所()
形状()
○設けない
床の目地 ・設ける 目地割 ※2m程度(最大目地間隔 3m程度)
種類 ※押し目地
○設けない

外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗料塗りの接着力試験 [6.15.6]

30 タイル張り
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
位置 (※改修標仕 6.16.2による)
見本焼及び試験施工
見本焼 ・行う ※行わない
試験張り ・行う ※行わない

セメントモルタルによるタイル張り
タイルの形状、寸法等 [6.16.3]
施工箇所 種類 形状寸法(mm) 吸水率区分 I類 II類 III類 釉薬 役物 色 再生材 耐凍害性 耐滑り性 備考

既調合モルタル
・既調合もモルタルの製造所の仕様による
下地モルタル塗りのコンクリート素地の下地処理方法
○高圧水洗による目直し工法(改修標仕 4.3.10(3)(4)による)
壁タイル張りの工法
内外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り

有機系接着剤によるタイル張り
タイルの形状、寸法等 [6.16.4]
施工箇所 種類 形状寸法(mm) 吸水率区分 I類 II類 III類 釉薬 役物 色 再生材 耐凍害性 耐滑り性 備考

接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
外装タイルにおける目地詰め ・行う ・行わない
目地のシーリング材
打継ぎ目地 ※ポリウレタンシーリング材
ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタンシーリング材
伸縮調整目地 ※変性シリコンシーリング材
その他の目地 ※変性シリコンシーリング材

下地モルタル塗りのコンクリート素地の下地処理方法
・高圧水洗による目直し工法(改修標仕 4.3.10(3)(4)による)

31 セルフレベリング材
種類 ・セッコウ系 ・セメント系
塗厚 mm [6.17.2] [表 6.17.1]

32 断熱材
断熱材名 種類(記号) 厚さ(mm) 施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキンなし)
・硬質ウレタンフォーム断熱材
・フェノールフォーム断熱材
○グラスウール断熱材

33 浴室天井材
市販品
材質 表面仕上げ 性能 幅(mm) 備考
※アルミニウム製 ※焼付け塗装品 準不燃品 ※200 回り縁は幅付きとし製造所の標準品とする。
・アルマイト処理品
・100

34 フリーアクセスフロア
材料等 [20.2.2]
施工箇所 構造 寸法(mm) 高さ(mm) 耐震性能 所定荷重 表面仕上げ材 備考
・支柱調整式
・直敷式

帯電防止性能 ・U値(クラス1) ・U値(クラス2)
漏洩抵抗 ・R≧1×10⁹Ω
耐荷重性能、耐衝撃性能、ローリングロード性能、耐燃焼性能の試験方法
※標仕20.2.2(4)による
耐荷重性能、耐衝撃性能、ローリングロード性能、耐燃焼性能の寸法精度
※標仕20.2.2(4)による

35 可動間仕切
材料等 [20.2.3]
構造形式による種類 構成基材の種類 n²材表面の仕上げ 遮音性能(dB/500Hz)
・スライド式(内蔵)
・スライド式(露出)
・スライドn²材式
・n²材式

36 移動間仕切
パネル内に取付ける建具
・あり(寸法及び形状)
・なし
パネルの材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
材料等 [20.2.4]
操作方式による種類 圧縮装置の操作方式 n²材の表面材 遮音性能(dB/500Hz)
・手動式
・電動式
・部分電動式

ハンガーレールの取付け下地の補強
※標仕 20.2.4(3)(4)による
パネルをランナーに取り付ける部品
※標仕 20.2.4(3)(4)による
ハンガーレール
※標仕 20.2.4(3)(4)による
ランナー
※標仕 20.2.4(3)(4)による
あと施工アンカー
・使用する
種類: 材質: 寸法:
・使用しない

37 トイレブース
材料等 [20.2.5]
パネル表面材の材質 脚部の種類 ドアエッジの材質
○ポリウレタン化粧化粧板
・ポリウレタン樹脂系化粧板
※鋼木タイプ
・ステンレス製
・表面材と同材

38 手すり
材料等 [20.2.6]
種類 表面仕上げ 直径(mm) 施工箇所 備考
○集成材
○ステンレス
・鋼製
・EP-6
・SOP
・ビニル製ハンドル

39 階段滑止め
材料等 [20.2.7]
材種 形状 寸法(mm) 取付工法
・ステンレス製(SUS304)
・黄銅製押出型材
・アルミニウム製押出型材
・ひも型
・タイヤ型
※接着工法
・埋込み工法

40 黒板及びホワイトボード
種類 寸法(mm) 色彩 備考
○黒板
・焼付け
・ほうろう
※緑・黒 ※平面
○ホワイトボード
・焼付け
・ほうろう
※白

41 表示
衝突防止表示
形状、寸法(φ30φ)
材質(ステンレス製)
非常用出入口等の表示等
※消防法に適合する市販品
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状寸法材質色、書体、印刷等の種類、取付け形式
○図示による

42 ブラインド
材料等 [20.2.14]
・横形ブラインド
種類 ※ギア式 ・コード式 ・操作棒式
幅、高さ ・図示による
スラットの幅 ※25mm
材質
スラット ※アルミニウム合金製
ヘッドボックス ※鋼製
ボトムレール ※鋼製

43 ロールスクリーン
材料等 [20.2.15]
種類 品質 遮光性能 操作方式 幅、高さ 取付箇所
・ポリエステル
・1級
・2級
・3級
・電動式
・スプリング式
・チェーン式
・図示
・図示

44 カーテン
・既存再使用する(養生方法)
○新設する(※防炎加工品)
材料等 [20.2.16]
形式 開閉操作方式 ひだの種類 生地の種類、品質、特殊加工等 取付箇所 備考
○ツグム
・片引き
・手引き
・三つ山ひだ
・二つ山ひだ
・箱ひだ、片ひだ
・グナム
・片引き
・電動
・グレースヒダ

6 内装改修工事	45	カーテンレール	既存利用 ・ 既存再使用する ○ 新設する	(20. 2. 16)
	46	ブラインドボックス 及びカーテンボックス	既存利用 ・ 既存再使用する ○ 新設する	
	47	天井点検口	材種 ○ アルミニウム製	寸法 450×450 600×600
	48	床点検口	材種 ○ アルミニウム製	寸法 450×450 600×600
	49	屋内掲示板	枠の材質 ※ アルミニウム製 表面の材質 ※ 塩化ビニルシート張り	
50	洗面カウンター	材種 ・ メラミン樹脂化粧板張り(心材:集成材) ・ 人工大理石	奥行(mm) ・ 約 450 ・ 約 600	
51	防煙垂れ壁	・ 固定式	材種 ・ 網入り腐板ガラス ・ 網入り腐板ガラス	厚さ(mm) ※ 6.8
52	収納家具	降下機構 ・ 煙感知器連動及び主導開放装置(埋込型) 材質形状、寸法 ※ 図示による 合板類、集成材、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆☆		
53	視覚障害者用床タイル (誘導用及び 注意喚起用床材)	ブロックパターンは JIS T 9251 による 色彩は黄色を原則とする 屋内 ※ 塩化ビニル製 ・ 磁器又はせっ器質タイル(※ 300 ・) ・ レジンコンクリート製 屋外 ※ レジンコンクリート製 ・ 磁器又はせっ器質タイル(※ 300 ・)	[6. 8. 2]	

7 塗装改修工事	1	材料	屋内で使用ホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆☆
	2	下地調整	種別 [7. 2. 2~7. 2. 7][表 7. 2. 1~7. 2. 7]
	3	素地ごしらえ	種別 [7. 3. 2~7. 3. 7][表 7. 3. 1~7. 3. 7]

4 錆止め塗料塗り	種別	[7. 4. 2~7. 4. 3][表 7. 4. 1~7. 4. 6]			
	下地面等	錆止め塗料の種類		工程の種類	
	鉄鋼面	新規	塗替え	新規	塗替え
	見え掛り部分	SOP A種 DP 1回目 C種 2,3回目 D種	RAの場合 1回目 C種 2,3回目 D種 RBの場合 E種	※ A種 ※ B種	※ A種 ※ B種 ※ C種
	見え隠れ部分	EP-G SOP A種 DP 1回目 C種 2,3回目 D種	※ A種 ※ B種	※ A種 ※ B種	※ C種
5 塗装塗り	種別	[7. 5. 2~7. 13. 2][表 7. 5. 1~7. 13. 1]			
	塗装の種類	塗装面	新規	塗替え	
	○合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	・ 木部(屋外) ・ 木部(屋内) ・ 鉄鋼面 ・ 亜鉛めっき鋼面 ・ 鋼製建具	※ A種 ※ B種 ※ A種・B種 ※ B種 ※ B種	※ B種 ※ B種 ※ B種 ※ B種 ※ A種	※ B種 ※ B種 ※ B種 ※ B種 ※ A種
	○珪藻土塗り(CL)	・ 木部 ・ 屋内のコンクリート面 ・ 珪藻土	※ A種 ※ B種	※ A種 ※ B種	※ B種 ※ B種
	○耐候性塗料塗り(DP)	・ 鉄鋼面 ・ 鋼製建具 ・ 亜鉛めっき鋼面 ・ 鋼製建具	※ A種 ※ B種 ※ A種 ※ B種	※ A種 ※ B種 ※ A種 ※ B種	※ C種 ※ C種 ※ A種 ※ B種 ※ C種
8 耐震改修工事等	種別	[7. 6. 1]			
	クリヤッカー塗り(CL)	種別がA種の場合における、改修標仕 表 7. 6. 1 の工程2 ・ 塗料の種類()			
	ウレタン樹脂ワニス塗り(UO)	種別がA種の場合における、改修標仕 表 7. 11. 1 の工程1の着色 ・ 適用する [表 7. 11. 1]			
	オイルステイン塗り(OS)の仕様	・ 図示による			
	特記仕様書(7)参照				

9 環境配慮改修工事	種別	[7. 4. 2~7. 4. 3][表 7. 4. 1~7. 4. 6]			
	下地面等	錆止め塗料の種類		工程の種類	
	鉄鋼面	新規	塗替え	新規	塗替え
	見え掛り部分	SOP A種 DP 1回目 C種 2,3回目 D種	RAの場合 1回目 C種 2,3回目 D種 RBの場合 E種	※ A種 ※ B種	※ A種 ※ B種 ※ C種
	見え隠れ部分	EP-G SOP A種 DP 1回目 C種 2,3回目 D種	※ A種 ※ B種	※ A種 ※ B種	※ C種

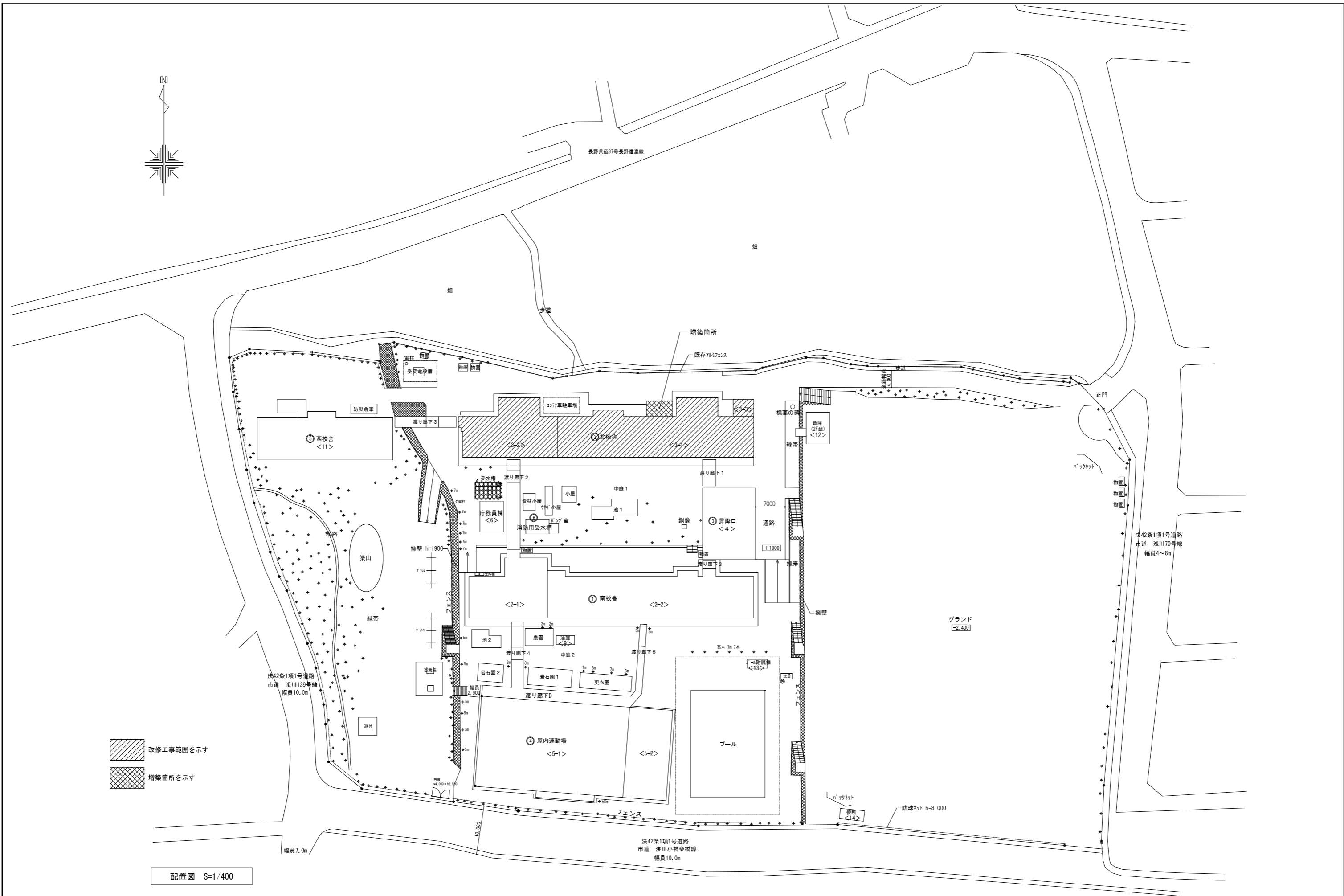
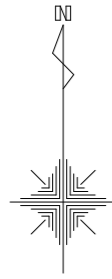
10 石綿含有建材の除去後の仕上げ	1	石綿含有建材の除去後の仕上げ	※ 外壁改修工事参照 [9. 1. 1]
	2	石綿粉じん濃度測定	測定箇所 ※ 図示 ・ 監督職員との打合せによる
	3	7μm 以上含有吹付け材の除去(レベル1)	測定箇所 ※ 図示 ・ 監督職員との打合せによる
	4	7μm 以上含有保温材等の除去(レベル2)	測定箇所 ※ 図示 ・ 監督職員との打合せによる
	5	7μm 以上含有成形板の除去(レベル3)	測定箇所 ※ 図示 ・ 監督職員との打合せによる
	6	7μm 以上含有仕上塗材の除去	測定箇所 ※ 図示 ・ 監督職員との打合せによる
	7	作業結果の確認・報告	測定箇所 ※ 図示 ・ 監督職員との打合せによる
	8	石綿含有建材の除去後の仕上げ	※ 外壁改修工事参照 [9. 1. 1]
	9	石綿粉じん濃度測定	測定箇所 ※ 図示 ・ 監督職員との打合せによる
	10	石綿含有吹付け材の除去	測定箇所 ※ 図示 ・ 監督職員との打合せによる



11 外断熱改修工事	断熱材の種類	[9. 2. 2]	
	材料名	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム(ノンフロン) [G] ・ 押出法ポリスチレンフォームA種(ノンフロン) [G] ・ 硬質ウレタンフォーム(ノンフロン) [G] ・ フェノールフォーム ・ ロックウール ・ グラスウール	
	外装材の種類	[9. 2. 2]	
	防火性能		
	既存外壁の仕上材の撤去	・ 有り ・ なし [9. 2. 3]	
12 断熱・防露改修工事	断熱材(ノンフロン)	[9. 3. 2~9. 3. 4]	
	工法	・ 断熱材打込み工法 JIS A 9521 ・ 建築用断熱材 ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム ・ 押出法ポリスチレンフォーム(スワッチなし) ・ 硬質ウレタンフォーム ・ フェノールフォーム ・ 7μm-47μm	
	断熱材現場発泡工法	・ 断熱材現場発泡工法 ・ 建築用断熱用吹付け ・ 硬質ウレタンフォーム(難燃性) ・ 7μm-47μm	
	断熱材後張り工法	・ 断熱材後張り工法 JIS A 9521 ・ 建築用断熱材 ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム ・ 押出法ポリスチレンフォーム(スワッチなし) ・ 硬質ウレタンフォーム ・ フェノールフォーム ・ 7μm-47μm	
	補裁基礎及び材料	[9. 4. 2]	
13 屋上緑化改修工事	補裁基礎及び材料	[9. 4. 2]	
	屋上緑化軽量システム	※ 屋上緑化軽量システム ・ 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※ 図示 ・ 見切材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※ 図示	
	路盤材料	[9. 5. 4][表 9. 5. 3]	
	再生クラッシュラン	RC-40 [G] ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ(CS-40) [G] ・ クラッシュラン(C-40) G ・ 透水性の高いものを使用する	
	透水性の高いものを使用する	[9. 5. 4]	
14 透水型アスファルト舗装改修工事	路盤材料	[9. 5. 4][表 9. 5. 1]	
	透水性の高いものを使用する	[9. 5. 4]	
	透水性の高いものを使用する	[9. 5. 4]	
	透水性の高いものを使用する	[9. 5. 4]	
	透水性の高いものを使用する	[9. 5. 4]	
15 PCB含有シーリング材	断熱材の種類	[9. 2. 2]	
	材料名	[9. 2. 2]	
	外装材の種類	[9. 2. 2]	
	防火性能	[9. 2. 2]	
	既存外壁の仕上材の撤去	[9. 2. 3]	

工事区分表

工事区分略号の凡例 A: 建築主体工事 E: 電気設備工事 M: 機械設備工事

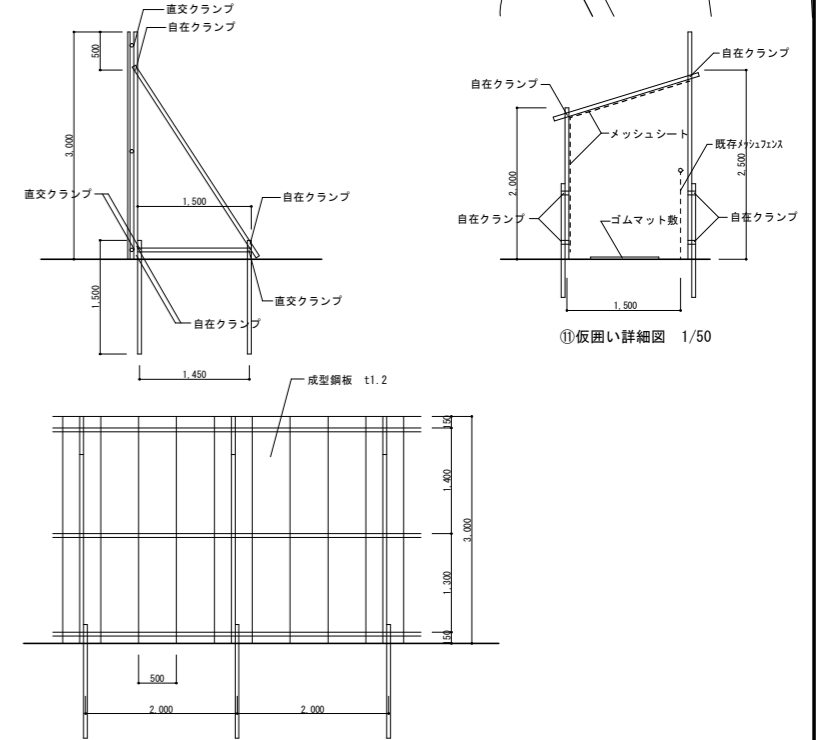
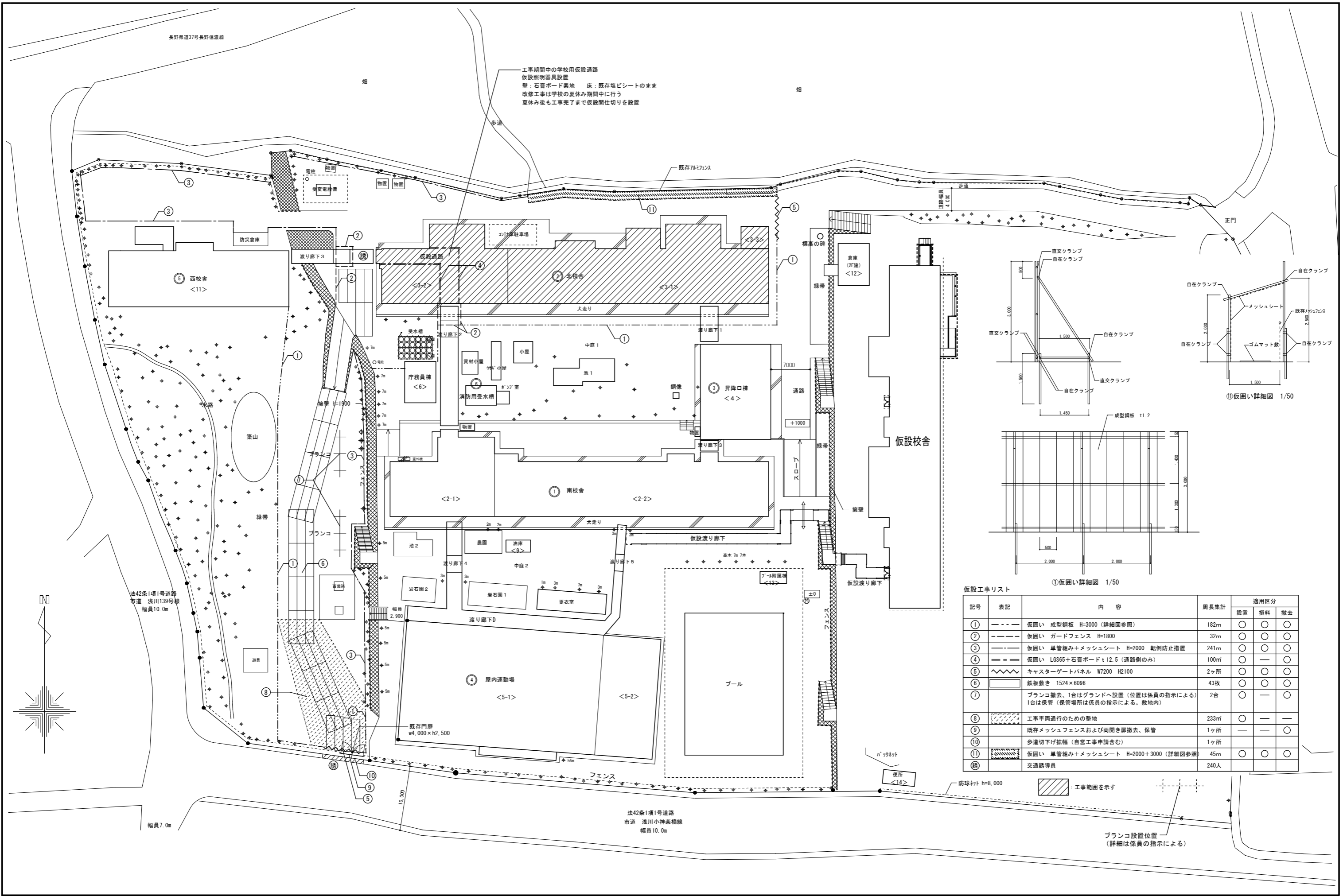
Main table with columns for Item, A, E, M, and Remarks. It is divided into three main sections: 躯体関係 (Structural), 仕上げ関係 (Finishing), and 電気配線配管 (Electrical Wiring/Piping). Each section contains detailed descriptions of construction items and their corresponding classification codes.



 改修工事範囲を示す
 増築箇所を示す

配置図 S=1/400

工事期間中の学校用仮設通路
 仮設照明器具設置
 壁：石膏ボード素地 床：既存塩ビシートのまま
 改修工事は学校の夏休み期間中に行う
 夏休み後も工事完了まで仮設間仕切りを設置

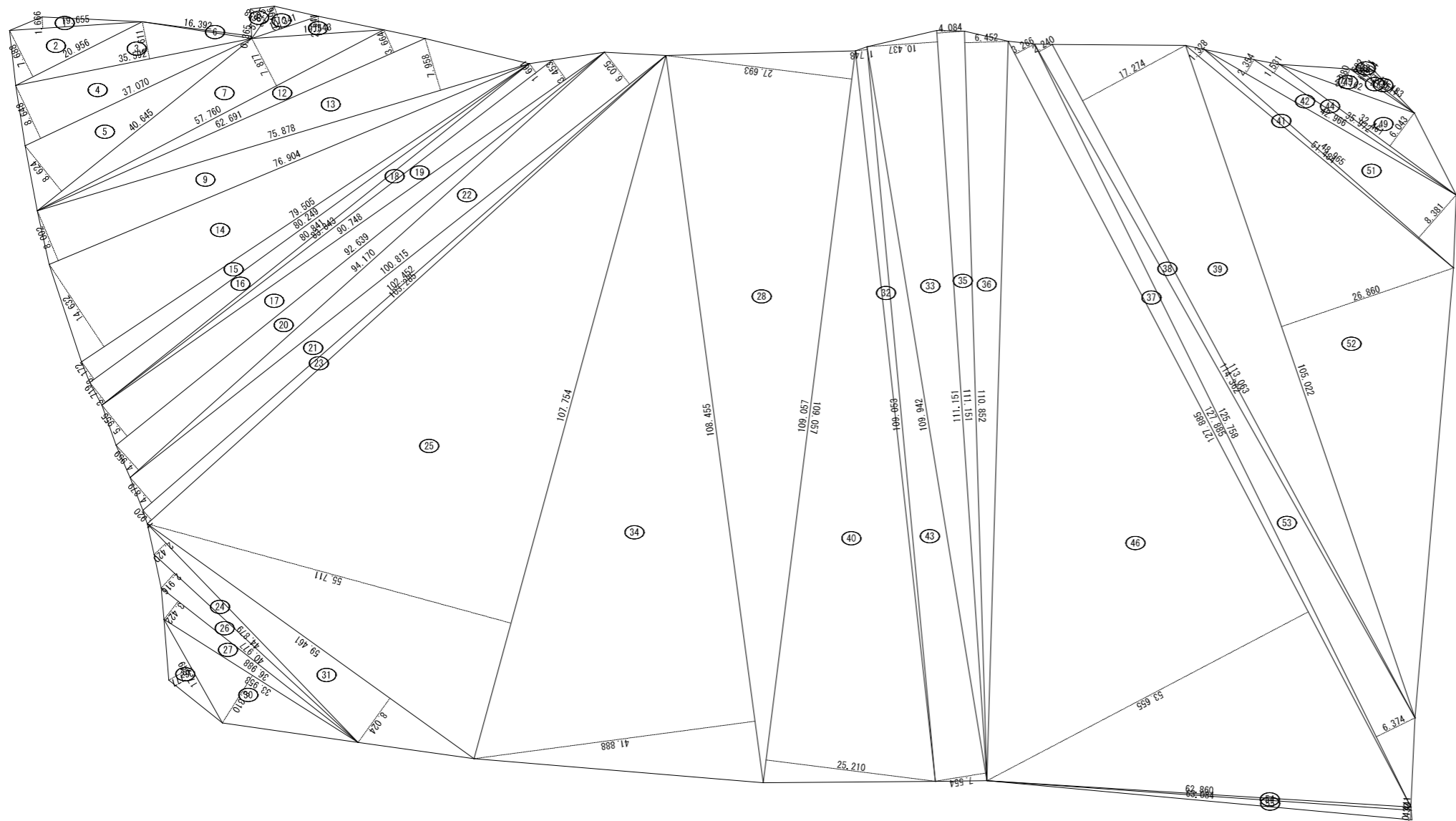


仮設工事リスト

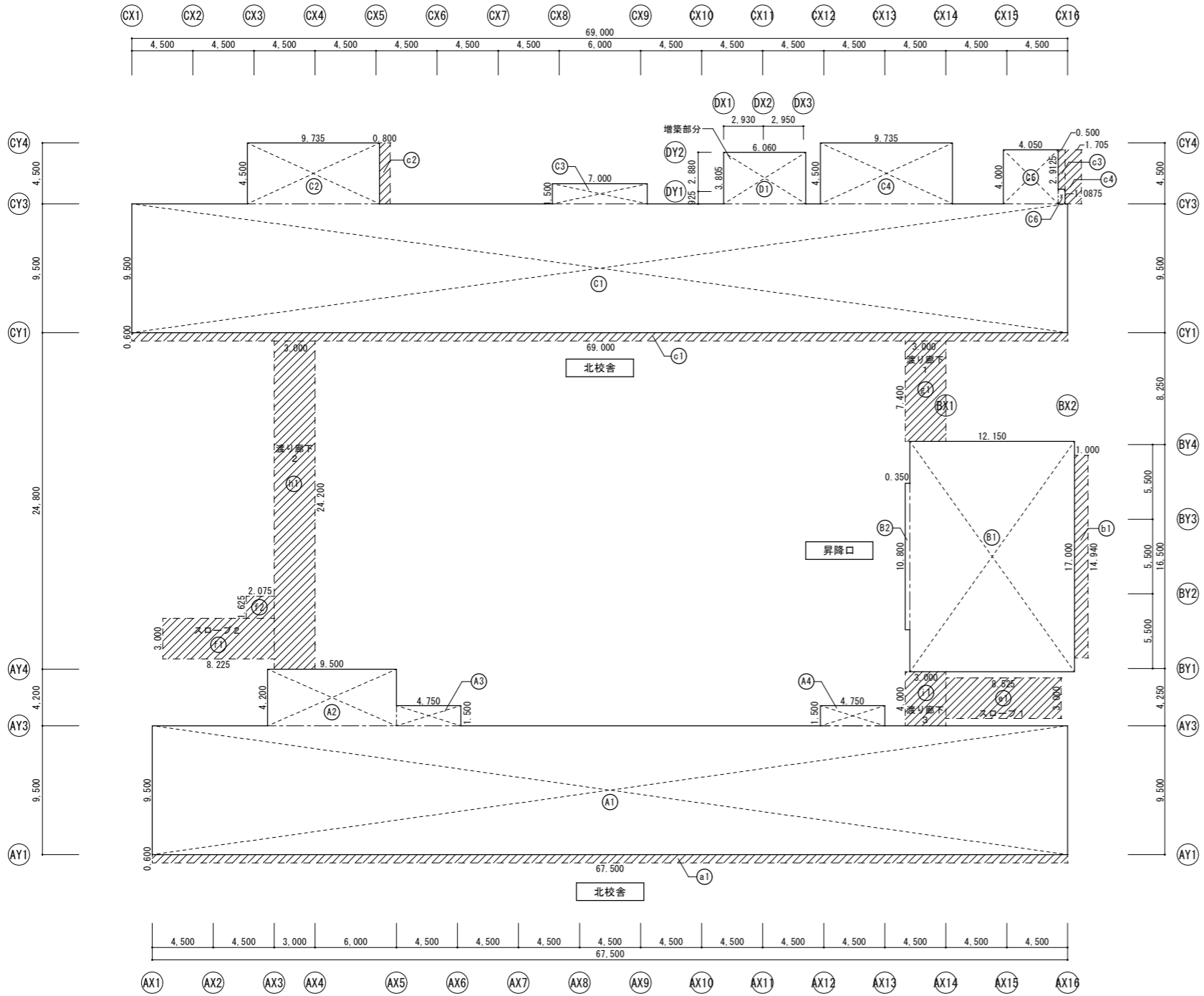
記号	表記	内容	周長集計	適用区分		
				設置	撤去	撤去
①	---	仮囲い 成型鋼板 H=3000 (詳細図参照)	182m	○	○	○
②	---	仮囲い ガードフェンス H=1800	32m	○	○	○
③	---	仮囲い 単管組み+メッシュシート H=2000 転倒防止措置	241m	○	○	○
④	---	仮囲い LGS65+石膏ボード t12.5 (通路側のみ)	100㎡	○	○	○
⑤	~~~~~	キャストゲートパネル W7200 H2100	2ヶ所	○	○	○
⑥	▨	鉄板敷き 1524×6096	43枚	○	○	○
⑦		プランコ撤去、1台はグラウンドへ設置 (位置は係員の指示による) 1台は保管 (保管場所は係員の指示による。敷地内)	2台	○	○	○
⑧	▨	工事車両通行のための整地	233㎡	○	○	○
⑨		既存メッシュフェンスおよび両開き扉撤去、保管	1ヶ所	○	○	○
⑩		歩道切下げ幅幅 (自営工事申請含む)	1ヶ所	○	○	○
⑪	▨	仮囲い 単管組み+メッシュシート H=2000+3000 (詳細図参照)	45m	○	○	○
⑫		交通誘導員	240人	○	○	○

ハックネット
 便所 <14>
 防球ネット h=8,000
 工事範囲を示す

プランコ設置位置
 (詳細は係員の指示による)



番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	19.655	1.666	32.745230	16.3726150
2	20.956	7.688	161.109728	80.5548640
3	35.592	5.611	199.706712	99.8533560
4	37.070	8.648	320.581360	160.2906800
5	40.645	8.624	350.522480	175.2612400
6	16.392	0.365	5.983080	2.9915400
7	57.760	7.877	454.075520	227.4877600
8	5.825	2.658	15.482850	7.7414250
9	76.904	8.002	615.385808	307.6929040
10	10.341	3.496	36.152136	18.0760680
11	19.543	2.641	51.613063	25.8065315
12	62.691	3.664	229.699824	114.8499120
13	75.878	7.958	603.837124	301.9185620
14	79.505	14.632	1,163.317160	581.6585800
15	80.249	3.172	254.549828	127.2749140
16	80.841	3.719	300.647679	150.3238395
17	92.639	5.955	551.665245	275.8326225
18	83.843	1.661	139.263223	69.6316115
19	90.748	3.453	313.352844	156.6764220
20	94.170	4.959	466.989030	233.4945150
21	102.452	4.879	499.863308	249.9316540
22	100.815	6.025	607.410375	303.7051875
23	103.285	1.920	198.307200	99.1536000
24	44.879	2.420	108.607180	54.3035900
25	107.754	55.711	6,003.083094	3,001.5415470
26	40.977	2.916	119.488932	59.7444660
27	36.988	3.422	126.572936	63.2864680
28	109.057	27.693	3,020.115501	1,510.0577505
29	17.549	3.777	66.282573	33.1412865
30	33.953	8.310	282.149430	141.0747150
31	59.461	8.024	477.115064	238.5575320
32	109.053	1.748	190.624644	95.3123220
33	111.151	10.437	1,160.082987	580.0414935
34	108.455	41.888	4,542.963040	2,271.4815200
35	111.151	4.084	453.940684	226.9703420
36	110.852	6.452	715.217104	357.6085520
37	127.885	3.266	417.672410	208.8362050
38	114.362	2.240	256.170880	128.0854400
39	113.063	17.274	1,953.050262	976.5251310
40	109.057	25.210	2,749.326970	1,374.6634850
41	51.484	1.328	68.370752	34.1853760
42	42.966	2.354	101.141964	50.5709820
43	109.942	7.554	830.501868	415.2509340
44	35.972	1.531	55.073132	27.5365660
45	21.162	2.880	60.946560	30.4732800
46	127.885	53.655	6,861.669675	3,430.8348375
47	11.511	0.682	7.850502	3.9252510
48	2.385	1.031	2.458935	1.2294675
49	32.461	6.043	196.161823	98.0809115
50	10.183	1.204	12.260332	6.1301660
51	48.965	8.381	410.375665	205.1878325
52	105.022	26.860	2,820.890920	1,410.4454600
53	125.758	6.374	801.581492	400.7907460
54	62.860	0.441	27.721260	13.8606300
55	63.084	1.432	90.336288	45.1681440
合計				21,281.4828330
敷地面積				21,281.48 m ²



1階床面積積算図・建築面積積算図

1階床面積積算表

北校舎				昇降口		南校舎					
C1	69.000 × 9.500	655.500	D1	6.060 × 3.805	23.058	B1	12.150 × 17.000	206.550	A1	67.500 × 9.500	641.250
C2	9.735 × 4.500	43.808				B2	0.350 × 10.800	3.780	A2	9.500 × 4.200	39.900
C3	7.000 × 1.500	10.500							A3	4.750 × 1.500	7.125
C4	9.735 × 4.500	43.808							A4	4.750 × 1.500	7.125
C5	4.050 × 4.000	16.200									
C6	0.500 × 1.0875	0.544									
		770.360			23.058			210.330			695.400

建築面積積算表

北校舎		昇降口		南校舎		スロープ1		
C1 ~ C6	770.360	B1 ~ B2	210.330	A1 ~ A4	695.400	e1	8.525 × 3.000	25.575
c1	69.000 × 0.600	b1	1.000 × 14.940	a1	67.500 × 0.600			
c2	0.800 × 4.500							
c3	0.500 × 2.9125							
c4	1.705 × 4.000							
	823.636		225.270		735.900			25.575
スロープ2		渡り廊下1		渡り廊下2		渡り廊下3		
f1	8.225 × 3.000	g1	3.000 × 7.400	h1	3.000 × 24.200	i1	3.000 × 4.000	12.000
f2	2.075 × 1.625							
	28.047		22.200		72.600			12.000

北校舎面積表（申請建物）

用途	床面積		
	既存部分	増築部分	合計
1階床面積	770.360	23.058	793.418
2階床面積	753.616	12.785	766.401
3階床面積	666.000	12.785	678.785
P.H床面積	22.200	-	22.200
延べ床面積	2,212.176	48.628	2,260.804
建築面積	823.636	23.058	846.694

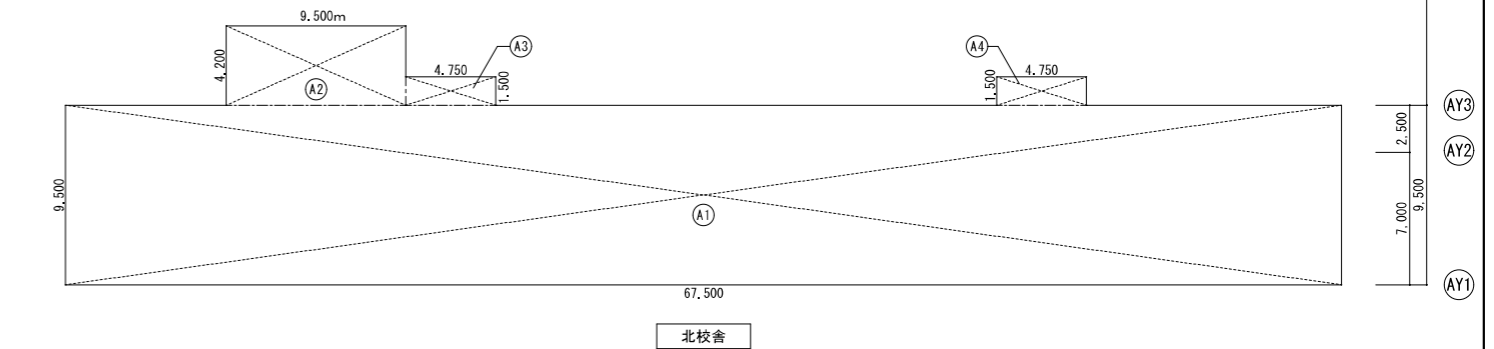
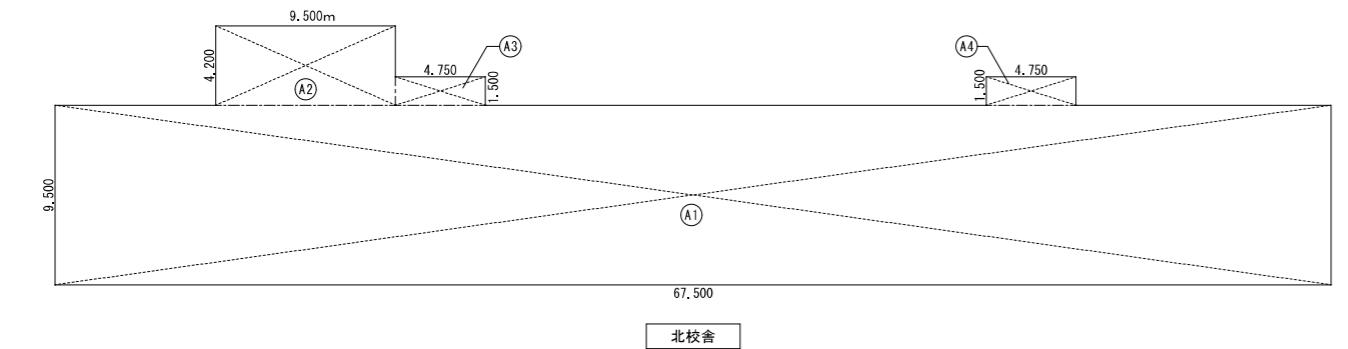
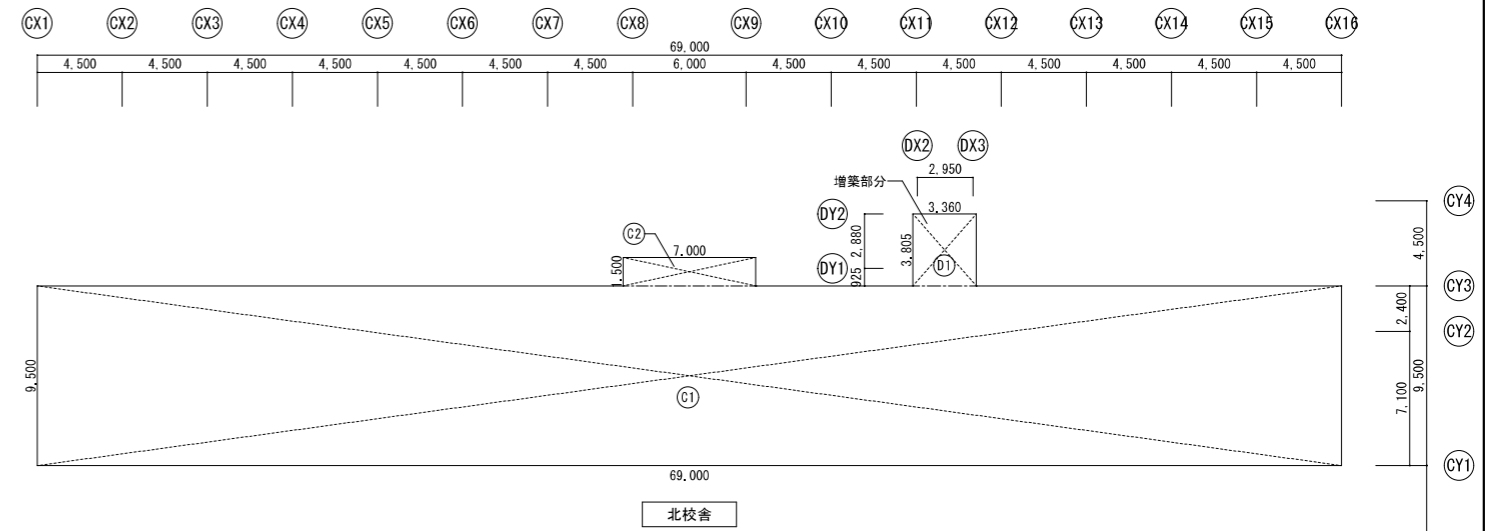
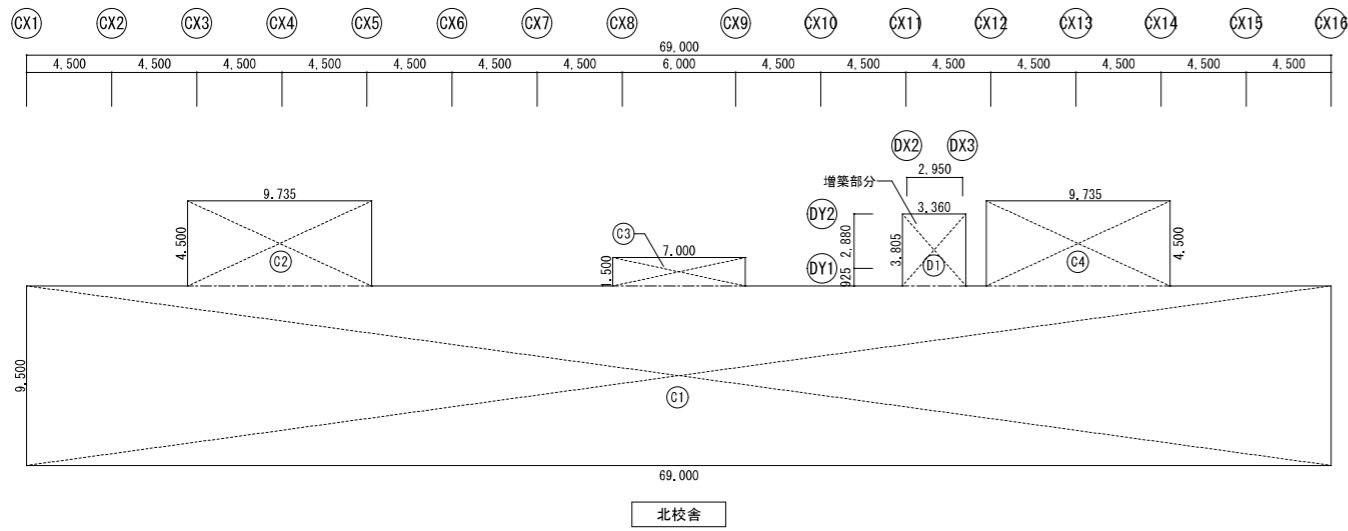
面積表（工事範囲外建物）

用途	床面積	建築面積
⑤ 西校舎 1階床面積	314.59	971.05
2階床面積	314.59	
3階床面積	314.59	
PH床面積	27.28	846.694
④ 屋内運動場 1階床面積	924.70	978.80
2階床面積	54.10	
⑩ 倉庫 1階床面積	39.00	78.00
2階床面積	39.00	
⑧ 更衣室	43.20	43.20
⑨ プール附属棟	10.00	10.00
⑪ 油庫	9.94	9.94
⑫ ポンプ室	9.94	9.94
⑬ 小屋	9.01	9.01
⑭ ウサギ小屋	24.42	24.42
⑮ 資材小屋	11.20	11.20
⑯ 受水槽ポンプ室	11.82	11.82
⑰ 防災倉庫	14.97	14.97
⑱ 便所	13.27	13.27
⑲ 物置1	6.93	6.93
⑳ 物置2	2.47	2.47
㉑ 物置3	3.33	3.33
㉒ 物置4	2.90	2.90
㉓ 物置5	2.90	2.90
㉔ 物置6	9.67	9.67
㉕ 物置7	2.90	2.90
㉖ 物置8	3.55	3.55
㉗ 物置9	3.55	3.55

面積表（工事範囲建物）

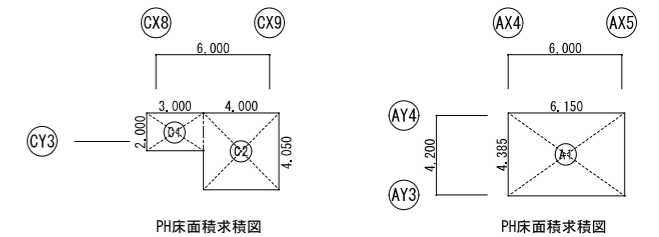
用途	床面積		建築面積
	床面積	延べ床面積	
② 北校舎 1階床面積	793.418	2,260.804	846.694
2階床面積	766.401		
3階床面積	678.785		
P.H床面積	22.200		
③ 昇降口	210.330		
① 南校舎 1階床面積	695.400	2,098.918	735.900
2階床面積	695.400		
3階床面積	681.150		
P.H床面積	26.968		
⑦ 庁務員棟	78.00	78.00	78.00
スロープ1	-	-	25.575
スロープ2	-	-	28.047
渡り廊下1	-	-	22.200
渡り廊下2	-	-	72.600
渡り廊下3	-	-	12.000

	既存部分	増築部分	合計
敷地面積			21,281.48 m ²
建築面積	4,068.59 m ²	23.06 m ²	4,091.65 m ²
延べ床面積	6,823.24 m ²	48.63 m ²	6,871.87 m ²



2階床面積求積図

3階床面積求積図



2階床面積求積表

北校舎棟			昇降口棟			南校舎棟		
C1	69,000 × 9,500	655,500	D1	3,360 × 3,805	12,785	A1	67,500 × 9,500	641,250
C2	9,735 × 4,500	43,808				A2	9,500 × 4,200	39,900
C3	7,000 × 1,500	10,500				A3	4,750 × 1,500	7,125
C4	9,735 × 4,500	43,808				A4	4,750 × 1,500	7,125
		753,616			12,785			695,400

3階床面積求積表

北校舎棟			昇降口棟			南校舎棟		
C1	69,000 × 9,500	655,500	D1	3,360 × 3,805	12,785	A1	67,500 × 9,500	641,250
C2	7,000 × 1,500	10,500				A2	9,500 × 4,200	39,900
		666,000			12,785			681,150

PH床面積求積表

北校舎棟			南校舎棟		
C1	3,000 × 2,000	6,000	A1	6,150 × 4,385	26,968
C2	4,000 × 4,050	16,200			
		22,200			26,968

a	躯体撤去 (図示部分)	d	下地調整 (図示部分)
b	仕上撤去 (図示部分)	e	取外し (図示部分)
c	仕上、下地撤去 (図示部分)	f	既存のまま

A	躯体新設 (図示部分)	D	塗替え (図示部分)
B	仕上新設 (図示部分)	E	再取付け (図示部分)
C	仕上、下地新設 (図示部分)	F	既存のまま

北校舎 改修前 外部仕上表			
	下地・仕上	撤去内容	備 考
外 壁	コンクリート打放し ベニヤ型枠 アクリルリシン吹付け	a、b	
	柱型：コンクリート打放し ベニヤ型枠 シリコン吹付け	b	
基 礎	コンクリート打放し ベニヤ型枠 シリコン吹付け	b	
屋 根	鉄骨小屋組柱・大梁：20-100×50×20×2.3 小梁：20-75×45×15×2.3 方杖：L-50×50×6 母屋：C-75×45×15×2.3	d	
	木毛セメント板 t20下地 アスファルトルーフィング20kg品敷き 長尺カラー鉄板28# 瓦棒葺き (芯木ナシ) 雪止め：L-50×50×4 OP塗装 2本	c c	
屋 根 (資料室上部)	均しモルタル (パーライトモルタル) t30	f	
	アスファルトルーフィング20kg品敷き 長尺カラー鉄板28# 瓦棒葺き (芯木ナシ)	c	
屋 根 (職員玄関上部)	木毛セメント板 t20下地 アスファルトルーフィング20kg品敷き 長尺カラー鉄板28# 瓦棒葺き (芯木ナシ)	c	
破 風	カラー鉄板巻き	c	
軒 天	コンクリート打放し ベニヤ型枠 アクリルリシン吹付け	b	
開 口 部	アルミ製サッシュ (シルバー) 単板ガラス シーリング材 スチール製ドア OP塗装 スチール製シャッター OP塗装	b	
テラス・犬走	コンクリート金ゴテ押さえ	f	
ベ ラ ン ダ	床：モルタル防水金ゴテ押さえ 巾木：モルタル防水金ゴテ仕上げ	f	
壁 種	WGP 内径φ105 OP塗装 支持金物：FB-4×40@1500 OP塗装	c	
軒 種	モルタル下地 オリエンタルメタル26#	b	
	H形鋼 H-200×200×8×12 OP塗装	c	
ルーフドレイン	鋼鉄製φ100用 既製品	c	
手 摺	手摺：GPφ40 OP塗装 支柱：GPφ40 OP塗装 手摺子：φ16 OP塗装 笠木：PC 40×210	c	
煙 突	石綿パイプ 内径φ115 傘鉄板：t1.6 断熱塗装	c	
笠 木	カラー鉄板28#	c	
	ステンレス製 (職員玄関屋根)	f	
職 員 玄 関	床：ニド掛タイル貼り	c	

：アスベスト含有建材を示す

北校舎 改修後 外部仕上表			
	下地・仕上	改修内容	備 考
外 壁	欠損およびクラック部分補修 (別図参照) 防水形複層塗材E吹付け (壁、柱型とも)	B	
	増築部分：ALC t100 縦張り 防水形複層塗材E吹付け	C	
基 礎	欠損およびクラック部分補修 (別図参照) 防水形複層塗材E吹付け	B	
屋 根	鉄骨小屋組：ケレン、清掃の上、錆止め塗装 (母屋リップ清形鋼とも)	D	
	耐火野地板 t25下地 ゴムアスファルトルーフィング t1.0 カラーガルバリウム鋼板 t0.5 かん合式タテハゼ葺き 雪止め：L-50×50×4 溶融亜鉛メッキ 2本 (裏面 不燃断熱材貼付け t4.0)	C C	
	増築部分：ガルバリウム鋼板折板葺き t0.8 H=104 裏面 不燃断熱材貼付け t5.0 雪止め：L-50×50×4 溶融亜鉛メッキ 1本	C	
屋 根 (資料室上部)	既存均しモルタル補修	F	
	ゴムアスファルトルーフィング t1.0 カラーガルバリウム鋼板 t0.5 かん合式タテハゼ葺き (裏面 不燃断熱材貼付け t4.0)	C	
屋 根 (職員玄関上部)	鉄骨小屋組：ケレン、清掃の上、錆止め塗装 (母屋リップ清形鋼とも)	D	
	耐火野地板 t25下地 ゴムアスファルトルーフィング t1.0 カラーガルバリウム鋼板 t0.5 かん合式タテハゼ葺き (裏面 不燃断熱材貼付け t4.0)	C	
破 風	カラーガルバリウム鋼板巻き	C	
軒 天	欠損およびクラック部分補修 (別図参照) 外装薄塗材E 吹付	B	
開 口 部	アルミ製サッシュ (シルバー) カバー工法 ペアガラス 網戸 (ガラス繊維入り合成樹脂ネット) スチール製ドア OP塗装 スチール製シャッター OP塗装	B	
テラス・犬走	コンクリート金ゴテ押さえ (既存のまま)	F	
ベ ラ ン ダ	床：既存モルタル下地 ウレタンゴム系塗膜防水 巾木：既存モルタル下地 ウレタンゴム系塗膜防水	B	
壁 種	丸型アルミ製 φ114 t1.5 バンドレスタイプ (既製品)	C	
軒 種	モルタル金ゴテ (水勾配) ウレタンゴム系塗膜防水	C	
	アルミ製 W100×H120 既製品 支持金物φ450	C	
ルーフドレイン	鋼鉄製φ100用 (既製品)	C	
手 摺	アルミ製笠木付き手摺 (既製品) 手摺強度1470N/m以上 (B.L認定150型)	C	手摺取付け用アンカーは各階1ヶ所引張試験を行うこと。
煙 突	屋根裏にて傘鉄板、コンクリート、石綿パイプ切断の上、鋼板製蓋取付け ※石綿パイプはアスベスト含有 一部煙突：傘鉄板、石綿パイプ突出部分のみ撤去の上、鋼板製蓋取付け	C	
笠 木	アルミ製笠木 (既製品)	C	
	ステンレス製 (職員玄関屋根) 既存のまま	F	
職 員 玄 関	床：耐凍害性磁器質100角タイル貼り	C	

Table with 4 columns (a, b, c, d, e, f) and 4 rows describing work types like '躯体撤去' and '下地調整'.

Table with 4 columns (A, B, C, D, E, F) and 4 rows describing work types like '躯体新設' and '仕上新設'.

北校舎 改修前 内部仕上表

Main table for '北校舎 改修前 内部仕上表' with columns for Room Name, Work Content, Material, and Dimensions. Includes rooms like 事務室, 校長室, 職員室, etc.

北校舎 改修後 内部仕上表

Main table for '北校舎 改修後 内部仕上表' with columns for Room Name, Work Content, Material, and Dimensions. Includes rooms like 事務室, 校長室, 職員室, etc.

: 7スペース有建材を示す

【特記事項】

- ※ 断熱材 最上階スラブ下 及び 外部に面する柱・梁・壁は現場発泡ウレタン吹付 t30とする。
外壁面に直交する壁・スラブ下は、外壁面より1000mmまで現場発泡ウレタン吹付 t30とする。
- ※ 有孔板 有孔ボード、有孔合板等の有孔板はすべて寒冷紗裏打ちとする（グラスウール10kg品 t50充填）
- ※ 黒板 焼き付け黒板とし、スチール t0.4以上・ラワン合板 t5.5以上・フラッシュ t30以上とする。木枠・チョーク入・粉入れ付
- ※ 掲示板 ラワン合板 t5.5下地 掲示用ビニールクロス貼りとする。枠は木製とする。
- ※ E X P ・ J 特記以外は、アルミ製 既製品 1時間耐火仕様 100タイプとする。

- ※ 木材：顔縁、枠、カーテンボックス、細物造作材は長野県産材とする。
- ※ コーナー見切（壁材）：集成材 腰 45 x 45 ・ 上部 30 x 30 C L
- ※ 特記なき限り、壁：掲示クロス貼り部分は、ラワン合板 t5.5下地とする。
- ※ ライニングは耐水合板 t12下地とする。
- ※ ライニング天板はステンレス t1.5加工とする。
- ※ ドレイン：ルーフトレインと整櫃の接続はねじ込み式とする。

- ※ シックハウス対策：内装材（建材全て・家具・塗装材料・接着材 等）は全て低ホルムアルデヒド仕様（F☆☆☆☆）とする。
- ※ 塩ビ廻り縁は全て隠し廻り縁仕様とする。
- ※ E L V ビット：床、壁（1 F L まで）防水モルタル処理の上塗布防水とする。
- ※ O L はF☆☆☆☆相当のものとする。
- ※ 床コンクリートのクラックはモルタル撤去後に調査し、エポキシ樹脂注入工法にて補修を行うこと。 床補修想定数量 : 北校舎 223㎡

